

1. 科目名 (単位数)	英語科指導法 I (4 単位)	3. 科目番号	EDEN3341
2. 授業担当教員	井草 玲子		EDEN2341
4. 授業形態	講義、演習 (ペア・グループ活動、ディスカッション、プレゼンテーション)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	英語教育の理論と実践の両側面をバランス良く学びながら、中学校及び高等学校の英語の教員免許状の取得を希望する者にとって必要不可欠な外国語 (英語) の学習・指導に関する基礎知識を身につけることを目標とする。具体的には、世界の言語、言語の習得、第二言語習得論、学習指導要領、評価とテストなどについて学ぶ。実践的な側面としては、聞く、話す、読む、書くといった 4 技能に焦点を当てた指導技術を学び、より良い授業を展開するために必要な事柄を考察し、学習していく。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領の理念に基いた小学校、中学校及び高等学校における英語教育の指導目標と指導計画について、及び小・中・高等学校の連携について理解を深めることができる。</li> <li>2. 第二言語習得理論とその活用について理解し、英語科教育への適用を考察することができるようになる。</li> <li>3. 教育現場で活用できるよう、英語の発音・語彙・文法と英語の 4 技能の指導技術の学びを深めることができる。</li> <li>4. 言語テストと評価に関する理解を深め、学習者のニーズ・英語力・授業の効果を把握し、学習指導に生かす土台を形成することができるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>宿題：事前学習と事後学習の欄を見て、丁寧に予習と復習を行うこと。</p> <p>課題：1. 文法の指導力向上のため、学期中に文法解説演習を数回課す。</p> <p>2. 英語の授業は英語で行うことがこれからますます求められているので、英語力向上を目指した課題 (Speech, 音読、教室英語) を課す。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>岡秀夫 編著『新・グローバル時代の英語教育—新学習指導要領に対応した英語科教育法—』(2020 年成美堂)</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領外国語活動・外国語編』開隆堂。</p> <p>文部科学省『中学校学習指導要領外国語編』開隆堂。</p> <p>文部科学省『高等学校学習指導要領外国語編』開隆堂。</p> <p>【参考書】</p> <p>村野井仁・渡部良典・尾関直子・富田祐一『統合的英語科教育法』成美堂。</p> <p>【参考資料】</p> <p>中学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p> <p>高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導要領の理念に基いた小学校、中学校及び高等学校における英語教育の指導目標と指導計画について、及び小・中・高等学校の連携について理解を深めることができたか。</li> <li>2. 第二言語習得理論とその活用について理解し、英語科教育への適用を考察できるようになったか。</li> <li>3. 教育現場で活用できるよう、英語の発音・語彙・文法と英語の 4 技能の指導技術の学びを深めることができたか。</li> <li>4. 言語テストと評価に関する理解を深め、学習者のニーズ・英語力・授業の効果を把握し、学習指導に生かす土台を形成できるようになったか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コースワーク (授業中の態度・積極的参加度、ペア、グループワーク等) 総合点の 20%</li> <li>2. 課題 (英語実技、レポート等) 総合点の 30%</li> <li>3. 復習テスト 総合点の 20%</li> <li>4. 期末テスト 総合点の 30%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. これまでに学習した『教室英語 (Classroom English)』の復習をしっかり行ってください。模擬授業、中学校や高等学校での教育実習時、そして、将来の教育現場で、即、役に立ちます。</li> <li>2. 講義終了後、その講義に関連する分野の英語の文献を積極的に読みましょう。英語教育の理解が深まりますし、英語力も向上します。</li> <li>3. 聞き、話し、読み、書くといった 4 技能の向上に努めてください。バランスの取れた英語力のある英語教員が求められていますから。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		メール : reigusa@ed.tokyo-fukushi.ac.jp
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	この科目を受講するにあたっての留意点	事前学習	英語教員の資質について自分なりに熟慮して授業に臨むこと。
		事後学習	講義の流れをつかみ、学習計画を立てる。
第 2 回	英語科授業の DVD 視聴	事前学習	模範となる英語科の授業を観察するにあたり、見るべきポイントを設定しておく
		事後学習	観察した授業を見て学んだことを自分のことばで文章にまとめてみる。
第 3 回	第 1 章 世界の中の英語 (1) 世界の英語	事前学習	テキスト第 1 章を読んで、世界的視野で英語を捉えられるようにしておく。
		事後学習	現代社会における英語の位置付けを鑑みて、どのように教えるべきか自分なりに考えを発展させていく。

第4回	第1章 世界の中の英語 (2) 英語を教えるとは	事前学習	英語の捉え方について考えを更に発展させ、不明瞭な所があれば質問をする。
		事後学習	自分が教員になった場合にどのように英語を教えるべきなのか考えを更に発展させる。
第5回	小学校外国語活動のDVD視聴	事前学習	小学校外国語活動についての情報を収集して、概要をつかむ。
		事後学習	観察した授業から学んだことを整理する。
第6回	第12章 小学校英語教育	事前学習	第12章を読んで、小学校英語教育の特徴を把握する。
		事後学習	小学校英語教育への理解を深める。
第7回	第2章 第二言語習得 (1) 習得のしくみ	事前学習	第2章を読んで、外国語の習得プロセスについて自分の学習と重ね合わせて考えてみる。
		事後学習	習得プロセスについて整理していく。
第8回	第2章 第二言語習得 (2) コミュニケーション能力	事前学習	テキストに基づきコミュニケーション能力について考えを深める。
		事後学習	外国語を指導する立場としてどのようなことに気をつけるべきか自分で考えを発展させていく。
第9回	第3章 外国語教授法 (1) 主要教授法	事前学習	第3章を読んで、主要な外国語教授法について知る。
		事後学習	各教授法の長所・短所を整理する。
第10回	第3章 外国語教授法 (2) 折衷的教授	事前学習	各教授法をどのように活用すべきかについて考える。
		事後学習	教える立場で、教授法の活用案を発展させていく。
第11回	第5章 学習指導要領 (1) 歴史の変遷	事前学習	小・中・高等学校の学習指導要領と第5章を読んで、小・中・高等学校の各校種で英語がどのように指導されるべきかについて理解する。
		事後学習	学習指導要領で求められる事項について整理する。
第12回	第5章 学習指導要領 (2) 改訂内容	事前学習	新学習指導要領と旧学習指導要領を比較し、新たに求められる指導とはどのようなものか読み取る。
		事後学習	学習指導要領で求められていることを教える際にどのように反映させるか自分なりに考えを発展させる。
第13回	第6章 言語要素の指導 (1) 音声指導	事前学習	第6章 (pp. 79-89) を読んで、発音指導について概要を理解し、発音記号を見て、単語の発音ができるよう目指す。
		事後学習	単語の発音記号を見て、単語を正しく発音できるよう練習する。
第14回	第6章 言語要素の指導 (2) 英語のプロソディー	事前学習	プロソディーについて理解し、練習問題にあたる。
		事後学習	プロソディーについて整理して、発音練習をする。
第15回	第6章 言語要素の指導 (3) 音読の重要性	事前学習	音声学の知識を基に、検定教科書の文章を音読できるよう目指す。
		事後学習	検定教科書の文章を正しく音読できるよう練習する。
第16回	第6章 言語要素の指導 (4) 語彙指導	事前学習	第6章 (pp. 89-97) を読んで、語彙指導の概要を理解する。
		事後学習	語彙指導についての大事な要素を整理する。
第17回	第6章 言語要素の指導 (5) 文法指導	事前学習	第6章 (pp. 97-102) を読んで、文法指導の概要を理解する。
		事後学習	文法の指導についての大事な要素を整理する。
第18回	これまでのまとめ (前半)	事前学習	これまでの既習事項を整理し、疑問点があれば質問する。
		事後学習	第6章までの既習事項を改めて整理する。
第19回	第7章 4技能の活動 (1) リスニング・スピーキングのプロセス	事前学習	第7章 (pp. 103-118) を読んで、リスニングとスピーキングの指導法の概要について理解する。
		事後学習	指導方法とこれまでの自分の学習方法とを比較してみる。
第20回	第7章 4技能の活動 (2) リスニング・スピーキングの指導例	事前学習	自分が中・高等学校で学んだ方法と比較してみる。
		事後学習	リスニングとスピーキングの指導法を基に、どのように教えるべきか考えを発展させる。
第21回	第7章 4技能の活動 (3) リーディング・ライティングのプロセス	事前学習	第7章 (pp. 118-130) を読んで、リーディングとライティングの指導法の概要について理解する。
		事後学習	指導方法と自分の学習方法とを比較してみる。
第22回	第7章 4技能の活動 (4) リーディング・ライティングの指導例	事前学習	自分が中・高等学校で学んだ方法と比較してみる。
		事後学習	リーディングとライティングの指導法を基に、どのように教えるべきか考えを発展させる。
第23回	第10章 テストと評価 (1) 授業準備・実施・評価サイクル	事前学習	第10章 (pp. 168-184) を読んで、テストと評価についての概要を理解する。
		事後学習	自分の受験経験を思い返ししながら、評価の考え方をより深く理解する。
第24回	第10章 テストと評価 (2) テストの目的と種類・良いテストの備えるべき条件	事前学習	評価の重要性を改めて認識する。
		事後学習	日本で受験可能な言語テストについての情報を得て見聞を深める。

第25回	第9章 テストと評価 (3) 到達度テストのあり方・結果の分析	事前学習	第10章を再度読んで、評定と通知について更に深く理解する。
		事後学習	教える立場になって、どのような評価をすべきか考えを発展させる。
第26回	第4章 学習者 (1) 学習者要因、特に、年齢・動機づけ	事前学習	第4章 (pp. 46-63)を読んで、学習者要因について概要を理解する。
		事後学習	特に動機付けについて理解を深める。
第27回	第10章 学習者 (2) 学習ストラテジー・その他の学習者要因	事前学習	効果的な学習方法について考える。
		事後学習	教える立場と学ぶ立場の双方から学習者要因について考えを深める。
第28回	これまでのまとめ (後半)	事前学習	第6章以降の既習事項を整理して、疑問点があれば質問する。
		事後学習	既習事項を改めて整理し直す。
第29回	第11章 教員養成と教員研修	事前学習	第11章を読んで、目指すべき教員像について考えておく。
		事後学習	目指すべき教員像を明確に持てるように志す。
第30回	総括:30回の授業のまとめ 重要事項の確認 質疑応答 授業評価	事前学習	テキスト全体で学んだことについて不明瞭な所があれば質問を準備しておく。
		事後学習	既習事項について総まとめをして、試験に備える。
期末試験			